



国立病院機構 京都医療センター

位置



京都医療センター

伏見区という京都市でもっとも人口の多い区
の中心にあり、

かつ京大病院、京都府立医大病院、京都第二
日赤、京都市立病院、京都第一日赤から離れ
たところにあります。

したがって、重症患者やrare diseaseが搬送され
てきたり近隣の医療機関から紹介されたりして
来院し、また同時にwalk-inで軽症患者や
common diseaseの患者も来院します。

臨床研修の二本柱

- そのような病院で、
 - ローターション
 - 臓器横断的に診療する総合内科・救命救急科が必修であり総合的な臨床能力を身に付けつつ、
 - 各科をローテーションすることで専門的な臨床能力も修得できます。
 - 救急外来担当
 - 1年を通じ担当
 - 軽症やcommon diseasesの患者から救急搬送されてくる重症の患者まで、幅広く急性期の患者の診療を経験できます。

臨床研修医ER担当

- 救急車来院(いわゆる3次救急)、自家用車あるいは歩行来院(いわゆる1・2次)を問わず全例に、1・2年次研修医2(3)人と卒後3・4年目の後期研修医・レジデント1人の計3(4)人がチームを組んで対応
 - 担当した症例を提示しfeedbackを受ける機会があります
 - Fullの夜勤明けは12時までに帰宅
- 救命センター医師、病棟当直医、循環器当直医、脳神経センター当直医、産科当直医が必要時バックアップし、また入院となった患者の管理を行う
 - その他、NICU当直、麻酔科集中治療室当直

ER担当

- 救急車 年3700台くらい
- その3倍くらいのwalk-in
- 1～3次救急
 - Walk-inは研修医がfirst touch
 - 救急車は救命科医師とともに診療
- 2ヶ月目～24ヶ月目まで、月に5～6回
 - 平均的には平日夜を週に1回、週末昼または夜を2回前後

1年目ローテーション表(例)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
血内	血内	麻酔科		救命		外科		呼吸器		放射線	総合内
総合内	総合内	血内	麻酔科		救命		外科		神経	糖尿病	
呼吸器	総合内	血内	麻酔科		救命		外科		小児科	小児科	
神経	糖尿病	総合内	血内	麻酔科		救命		外科		総合内	
腎・内	消化器科		総合内	血内	麻酔科		救命		外科		
糖・腎	循環器		消化器	総合内	血内	麻酔科		救命		外科	
消化器	呼吸器		外科		総合内	血内	麻酔科		救命		
呼吸器	腎臓内	糖尿病	消化器	循環器	心外	総合内	血内	麻酔科		救命	
消化器	泌尿器	外科		内・糖・腎		泌尿器	総合内	血内	麻酔科		
神経	糖尿病	循環器	消化器	外科		呼吸器科		総合内	血内	麻酔科	
内・糖・腎	外科		呼吸器		循環器科		心外	整形	総合内	血内	

総合内科で内科学・医学の原理原則を確認してもらった後、麻酔科でコントロールされた状況下で侵襲的手技を修得、その後救命科で重篤患者の管理を経験してもらいます。

たすきがけ1年目

必須	選択
総合内科・血液内科	内分泌・代謝内科
麻酔科	糖尿病センター
救命科	腎臓内科
外科	循環器科
一般外来(内科系ローテ中週1回)	消化器科
	呼吸器科
	神経内科
	など

2年目ローテーション表(例)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
産婦人科	循環器内科	放射線診断科	消化器内科	富江病院(長崎県)	精神科	腎臓・内分泌代謝・糖尿病内科		宇多野病院	検査科	脳神経内科	リハビリ
小児科・産科婦人科		精神科	形成外科	循環器内科	呼吸器内科		リハビリ	青洲会(長崎県)	放射線診断科	救命(選択科)	
育休	小児科・産科婦人科			精神科	形成外科	検査科	区内診療所	循環器内科	脳神経内科	放射線診断科	病理診断科
消化器内科	外科		平戸病院(長崎県)	放射線診断科	小児科・産科婦人科			精神科	リハビリ	検査科	形成外科
救命	放射線診断科	緩和ケア	小児科・産科婦人科			精神科	生月病院(長崎県)	内分泌代謝内科		形成外科	検査科
救命		区内診療所	循環器内科	病理診断科	放射線診断科	小児科・産科婦人科			精神科	緩和ケア	泌尿器科
麻酔科	救命		精神科	リハビリ	宇多野病院	放射線診断科	循環器内科	区内診療所	小児科・産科婦人科		
麻酔科		救命		小児科・産科婦人科			精神科	形成外科	病理診断科	隠岐病院(島根県)	緩和ケア
血液内科	麻酔科		救命		区内診療所	緩和ケア	小児科・産科婦人科			精神科	放射線診断科
外科		麻酔科		救命		区内診療所	病理診断科	小児科・産科婦人科			精神科
総合内科	救命	小児科・産科婦人科			脳神経内科		放射線診断科	洛南病院	柿添病院(長崎県)	宇多野病院	循環器内科

たすきがけ2年目

必須	選択
小児科 1.5ヶ月	内科系
産婦人科 1.5ヶ月	外科系(外、整、形、脳、呼、血管、心、皮、泌、眼、耳鼻・頭頸部)
地域 1ヶ月(伏見医師会、長崎)	検査部門
精神科外来 1ヶ月	病理部門
	リハビリテーション科
	放射線科
	緩和ケア科
	など

たすきがけ2年目

- 2年目に市中病院で研修するメリット
 - 1年目の最初の1～2ヶ月は見習い
 - 1年のうち、しっかりと診療できるのは10ヶ月くらいかも
 - 京大で十分に臨床能力をつけてから、多様な、多くの患者を診る機会のある市中病院でまる1年間研修できる

研修医勉強会

- ER症例検討会（毎週火曜日）
- 研修医ランチョンセミナー（毎週金曜日）
- ERレクチャー（研修医の希望する内容を専門医がレクチャー、2023年度は9回開催）
- その他、CPC、院内外セミナーなどへの参加

後期研修プログラム

市中病院としては充実しています

- 当院が有する基幹施設としてのプログラム
 - 内科
 - 外科
 - 産科婦人科
 - 整形外科
 - 救命救急科
 - 麻酔科
 - 総合診療科
- 上記以外に京大その他のプログラムの連携施設の診療科も多数

以下を参考に

- 病院ホームページ
 - <https://kyoto.hosp.go.jp/html/guide/recruit/resident.html>
- レジナビ動画
 - <https://www.residentnavi.com/article/webseminar/181>